



平成 29 年 11 月 22 日

～ 三次元細胞積層技術を活用した再生医療製品の研究開発を支援 ～ QB 第一号ファンド 「株式会社サイフューズ」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、7 件目の投資案件となる「株式会社サイフューズ（代表取締役社長 川野 隆清）」（以下「サイフューズ」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

サイフューズは、九州大学出身の中山 功一氏（現 佐賀大学医学部臓器再生医工学講座教授）が発明した三次元細胞積層技術を用いて、スフェロイド^{*1}から立体的な組織・臓器（骨軟骨・血管・神経等）を作製し、再生医療等製品の実用化に取り組んでいる九州大学発の再生医療ベンチャー企業です。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

^{*1}：細胞同士が集合、凝集化した球状の細胞集合体（細胞塊）。サイフューズは、細胞が有している凝集能力に着目し、GEL（ゲル）等の人工的な物質を使用せず、細胞のみで立体的な組織・臓器を作製することに成功。

記

1. 対象企業の概要

会 社 名	株式会社サイフューズ
本 社 住 所	東京都文京区本郷 7 丁目 3 番 1 号
代 表 者	川野 隆清
設 立	平成 22 年 8 月
事 業 内 容	三次元細胞積層技術を活用した再生医療等製品の研究・開発・製造・販売
資 金 使 途	再生医療等製品の研究開発等に必要となる運転資金

2. 出資の理由

本件は、独自の三次元細胞積層技術を活用した再生医療等製品の研究開発に取り組むサイフューズの下記の点を評価し、出資を行いました。

（1）高い技術力

サイフューズが保有する三次元細胞積層技術は、さまざまな再生医療等製品の実用化へ向け、多種多様な活用が見込まれるプラットフォーム技術であり、再生医療の発展につながる独自技術であること。

（2）安全性・親和性

サイフューズの再生医療製品は、ゲル等の人工的な材料を使用せず、細胞のみで作製されているため、他の製品と比較して安全性、自己組織との親和性が高いこと。

（3）地域経済の活性化

大学の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以 上

参 考

『QB第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

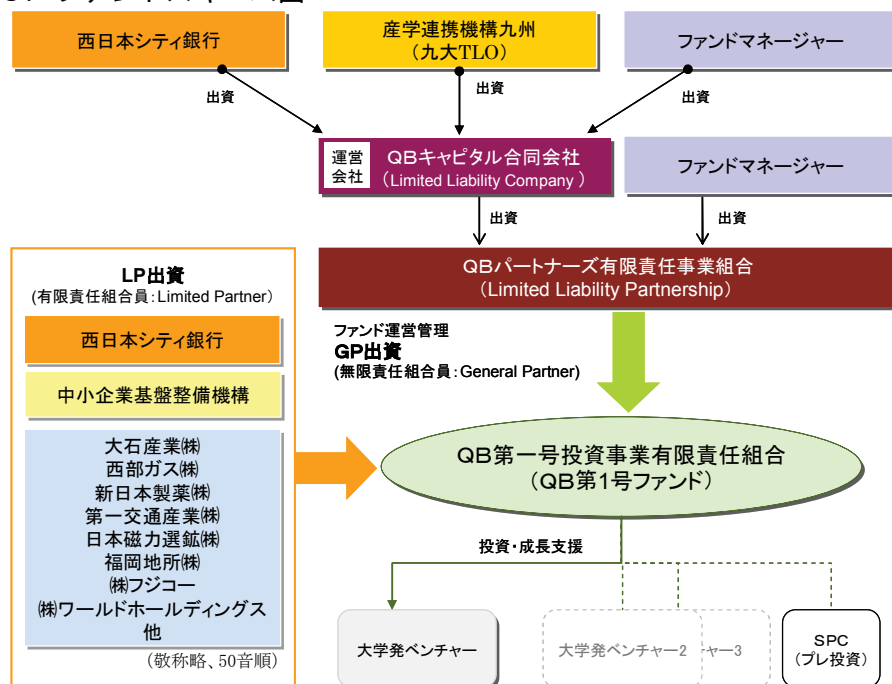
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP: General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP: Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741